

南都代官竹村嘉広召状（折紙）

尚々、日限無相違、少も早ク可罷越候、

今度南都東大寺御蔵御修復御奉行、我等江被 仰付候、依之番人入候間、上組下組之内より庄屋共十人、来月八日南都江参着候様ニ早々可参候、南都ニ日数三拾日斗も逗留可有之候間、可被得其意候、尤刀ヲさし可参候、油断有之間敷候、已上

（元禄六年）

五月廿九日

竹八郎兵衛印

（貼紙）「元禄六年」

十津川

上組
下組

庄屋中